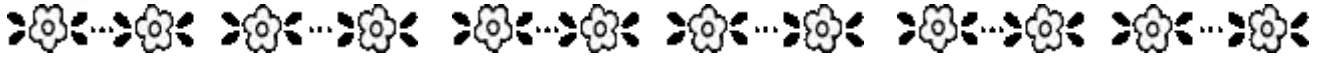


三ツ境小だより 8月号

令和4年7月20日
横浜市立三ツ境小学校
学校長 遠山 松雄



明日から夏休み

校長 遠山 松雄

観測史上最も早い梅雨明けから1か月あまり、明日から約5週間の夏休みになります。健康管理に気を付け、元気に過ごしてほしいと思います。学校でも休み中の過ごし方について、朝会や学級で指導をしました。ご家庭でも、安全面、地域で過ごすときのルールやマナーなど、子ども達とよく話し合ってください、夏休みを楽しく過ごせるようお声かけいただくようお願いいたします。また、今月8日からの三者面談の席で確認をしたこの3か月の振り返りをもとに、休み中の目標を明確にもち、楽しく有意義な夏休みを送ってほしいと思います。

7月6日、7日には、6年生が日光へ修学旅行に行ってきました。前日まで、台風4号から変わった温帯低気圧の影響が心配でしたが、心配を吹き飛ばすような天気にも恵まれました。水量が豊富で豪快な華厳の滝、湯滝や戦場ヶ原のハイキング、東照宮、自然や歴史を満喫することができました。

今年になってテレビなどのニュースで「3年振りに〇〇が行われました。」というニュースをよく見かけます。先日も京都の祇園祭の様子が紹介されていました。『コンチキチン♪』と鳴る鉦(カネ)の音と、太鼓、笛によって奏でられる「お囃子(おはやし)」が響き渡る中、数年前に四条通りの沿道に立ち、次々に通り過ぎていく山鉦を眺めたことを昨日のこのように思い出します。祇園祭は1か月にわたって行われ、全国から観光客が訪れる祭です。その歴史は古く、起源は平安時代にまでさかのぼり、京都で流行した疫病を鎮めるため、66本の矛をつくり疫病の退散を祈願したのが始まりと言われています。17日の前祭では、3年振りに山鉦巡行が行われ23基の山鉦が京都の街を練り歩きました。1000年以上も続く伝統の祭もコロナ禍で中止や縮小を余儀なくされてきました。令和の時代の疫病の退散をお願いしたいところです。

さて、三ツ境の地域でも、7月2日、3日に七夕灯籠祭りが行われました。点灯式に参加させていただき、久しぶりに道路に並ぶ灯籠絵を楽しみながら長屋門公園、向原第二公園まで歩きました。開催にあたっては、関係者の皆様のご苦勞があったことと思います。久しぶりに祭の雰囲気味わうことができました。今年の夏は全国各地で実施の方法を工夫して、3年ぶりに実施される行事が多いと思います。第7波という報道もあり、依然として予断の許せない状況が続きますが、感染対策を取りながら、可能な範囲で夏の行事を楽しめるように願っています。校内では夏休み明けの行事の準備を始めます。感染状況を見極めながら実施内容等を検討していきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、暑い中ではありますが、子ども達への声かけ、見守りをよろしくお願ひします。

8月3日～16日は学校閉庁日となります。教職員は出勤しておりません。何か緊急に学校に連絡の必要がある場合は、平日の8:30～17:15に西部学校教育事務所指導主事室(045-336-3743)にご連絡ください。学校閉庁日内のお子様の新型コロナウイルス陽性判明等の連絡については、17日以降に学校へご連絡ください。

お知らせ

○令和3年度決算報告書、令和4年度学校配当予算執行計画書を三ツ境小学校ホームページに掲載いたします。ご確認ください。

○下校時、児童が安全に登下校ができますよう、お車での送迎はご遠慮ください。（放課後等デイサービスの車両が駐車している場合があります）

○夏季休業中も、「ロイロノート・スクール」に毎日の健康観察をご入力ください。

専任 吉田より

待ちに待った夏休み。何をして過ごそうかと楽しみにしている子どもたちが多いと思います。まとまった時間がとりやすい夏休みは、普段できないことに取り組むチャンスでもあります。子どもたちには、様々な体験をして、充実した夏休みを過ごしてほしいと考えています。8月29日(月)には、子どもたちと笑顔で会えることを楽しみにしています。

一方で、ご家族の休みと時間が合わず、いつも以上に目が届かなくなる心配が出てくるご家庭もあることと思います。三ツ境小学校では、夏休み前に学校から「夏休みの過ごし方」を配付するとともに、その内容について子どもたちに指導しています。ご家庭でお子さんと夏休みの過ごし方を確認する際には、プリントの内容を改めて話題にいただき、夏休みの期間をよりよい時間にしていただきたいと思います。プリントには、各機関の連絡先も載せてあります。相談や心配な事がありましたら、随時ご活用ください。